



189

セントラル愛知交響楽団

CENTRAL  
AICHI SYMPHONY  
ORCHESTRA

## 定期演奏会



190

第189回 発売日：一般3/30 [会員先行 3/28.29]

## シーズン幕開けはブルックナーの交響曲第5番

精緻なアンサンブルと室内乐的なアプローチで新しいブルックナー像を作り上げる

2022.5/20 [金] 開場 17:45 / 開演 18:45 (18:25~ プレトークあり)

指揮 / 角田鋼亮 (当団常任指揮者)

- ◆ヴォーン=ウィリアムズ：音楽へのセレナード
- ◆ブルックナー：交響曲第5番 [原典版]



Mark Maest

第190回 発売日：一般4/27 [会員先行 4/25.26]

## 伝説の指揮者チェリビダッケの弟子マーク・マスト登場

ブラームス国際コンクール第1位の中村太地のヴァイオリンによるブラームス協奏曲は必聴!

2022.6/18 [土] 開場 13:30 / 開演 14:30

指揮 / マーク・マスト ヴァイオリン / 中村太地\*

- ◆ブラームス：ヴァイオリン協奏曲二長調\*
- ◆シューベルト：交響曲第9番ハ長調「グレート」



Daichi Nakamura

三井住友海上しらかわホール TEL052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15  
(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定

プラチナ席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 / U25席1,000円

※未就学児入場不可 [U25は公演日に25歳以下対象、要身分証明書、座席指定不可 指定の場合は一般価格の半額、当団事務局のみの取扱い]

- チケット取扱い ●セントラル愛知交響楽団 (郵送サービス有) ●愛知芸術文化センタープレイガイド TEL052-972-0430  
●しらかわホールチケットセンター TEL052-222-7117 ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/>  
5/20 (Pコード212-129) 6/18 (Pコード212-130)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。  
※当団定期会員・賛助会員・リスナー会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能です。[当団事務局のみの取扱い]

## 定期演奏会イベント

- 第189回 5/19(木) 10:30~11:20 公開講座 12:00~13:00 公開リハーサル 会場/名古屋文理大学文化フォーラム
- 第190回 6/17(金) 10:30~11:20 公開講座 12:00~13:00 公開リハーサル TEL0587-24-5111 入場無料・先着200名

お問い合わせ・チケットのお申し込み

## セントラル愛知交響楽団

TEL052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社  
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM@AICHI  
協賛/三井住友海上(5/20のみ)・名古屋市美術館

## 指揮 角田鋼亮 (当団常任指揮者)〈第189回〉

Kosuke Tsunoda / Conductor

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2022-2023シーズンのハイライトとしては、セントラル愛知交響楽団「ブルックナー:交響曲第5番」「マーラー:大地の歌(室内オーケストラ編曲版)」、愛知県芸術劇場「モーツァルト:バステアンとバステイニス」、京都市交響楽団「ブラームス:ドイツ・レクイエム」、大阪フィルハーモニー交響楽団「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」等があげられる。  
<http://kosuketsunoda.com>

## 指揮 マーク・マスト〈第190回〉

Mark Mast / Conductor

1963年ドイツ・シュヴァルツヴァルト(黒い森)の街フロイデンシュタットに生まれハイデルベルク等で音楽を学ぶ。セルジュ・チェリビダッケのもとで1987年から1992年まで学んだ経験が指揮者としての成長に決定的な影響を及ぼした。1994年バイエルンフィルハーモニー管弦楽団を設立し芸術監督に就任。合わせて100名編成の同フィル合唱団を設立。常設の合唱団を擁する強みを生かし、パッハの「クリスマスオラトリオ」や「ロ短調ミサ曲」、ベートーヴェンの「第9」、バイエルンゆかりのホルンの「カルミナ・ブラーナ」を始め、バロックから近現代の大曲や小編成でのアウトリッチなど幅広いレパートリーを演奏している。2008年にはバイエルンの作曲家の作品紹介によって「ドナウヴェルト・ヴェルナー・エック賞」を受賞。2018年にはセントラル愛知交響楽団に客演しブルックナー「ロマンティック」交響曲を演奏、チェリビダッケを彷彿とさせる響きが廻り絶賛された。2019年バイエルンフィルハーモニーの創立25周年を記念してヨーロッパ及びコロラドにおいて演奏ツアーを行った。これまでにヨーロッパ各国のオーケストラに客演するとともに「シュヴァルツヴァルト音楽祭」、「セルジュ・チェリビダッケ・フェスティバル」などを開催、コンスタンティン・ヴェッカー(ドイツを代表するシンガー・ソングライター)とともにヨーロッパ26カ所で行うなど多彩な活動を行っている。2021年スペイン国立放送管弦楽団を指揮してチェリビダッケ作曲「辛い時こそ微笑みを」(世界初演)「タッチエンガルテン」(スペイン初演)を演奏。2022年4月からデンバーフィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者も務める。

## ヴァイオリン 中村太地〈第190回〉

Daichi Nakamura / Violin

福岡県北九州市出身。福岡県立小倉高等学校卒業後、ウィーン国立音楽大学にてミハエル・フリッセンシュラガー氏に師事。2017年ブラームス国際コンクールにて日本人初の優勝を飾る。若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール(最年少ファイナリスト)、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど数多くの権威ある国際コンクールにて入賞や特別賞を受賞する。モスクワやウィーンの流派を汲み、エリザベート王妃記念シャベル音楽院にてオーギュスタン・デュメイ氏に師事した。九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラーゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラと共演、クフモ室内音楽祭(フィンランド)に招かれる等、ヨーロッパと日本を中心に活動中。2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。2018年より株式会社スターフライヤーと音楽家としては初となるスポンサー契約を結んでいる。2019年7月にはビクターエンタテインメントよりデビューアルバム「オールブラームス全集」をリリース。9月よりサントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとする大ホールツアーを開催し、大成功を取めた。

## セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

### 新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

- チケット購入時にご登録頂く個人情報は会場内で感染者が出た場合、保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。
  - 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。
  - 会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。
  - 出演者への贈り物・面会のご遠慮ください。
- ※2022年3月現在の対策です。変更となる場合があります。

